

# カネソウ タラップ用把手

## 施工要領書・取扱説明書

### 対象製品

タラップ用把手付マンホール鉄蓋（先付型）

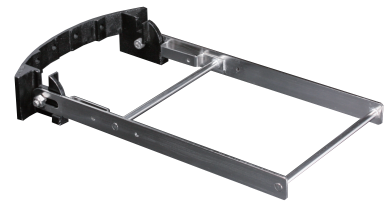
後付型タラップ用把手



製品符号:ST-S(角)



製品符号:ST-S(丸)



製品符号:ST-A

この度は、カネソウ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用になる前に、必ずこの「施工要領書・取扱説明書」をご一読いただきますようお願いいたします。

間違った施工・取扱を行いますと、製品の損傷や使用上の不具合、けがなどの事故につながる可能性がありますので、ご注意ください。

**カネソウ株式会社**

〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地

TEL (059) 377-3232 FAX (059) 377-3905

東京支店

TEL (03) 3433-6645

大阪営業所

TEL (06) 7639-5870

仙台営業所

TEL (022) 214-8088

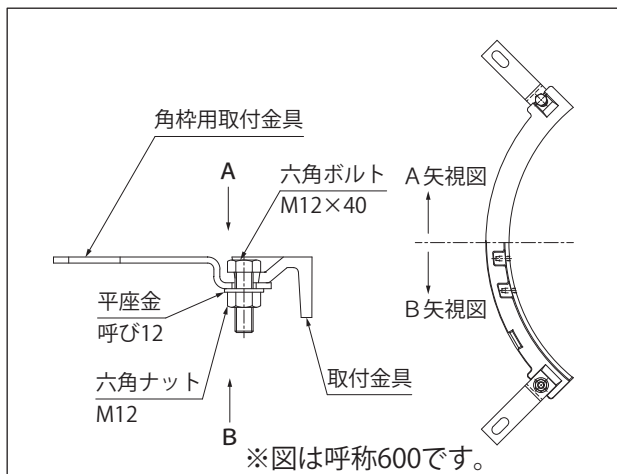
福岡営業所

TEL (092) 432-2532

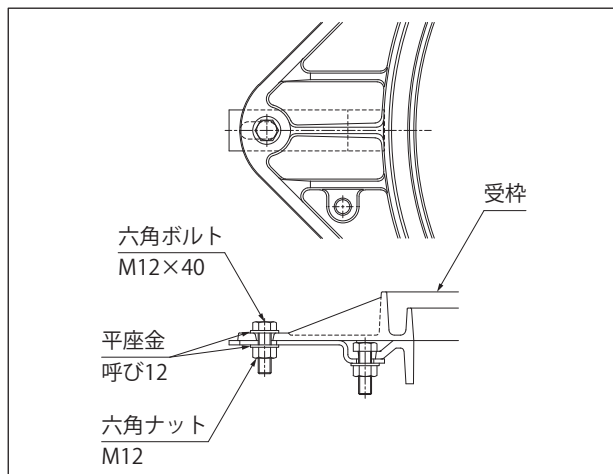
URL: <http://www.kaneso.co.jp/> E-mail: [info@kaneso.co.jp](mailto:info@kaneso.co.jp)

この内容は2022年9月現在のものです。仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

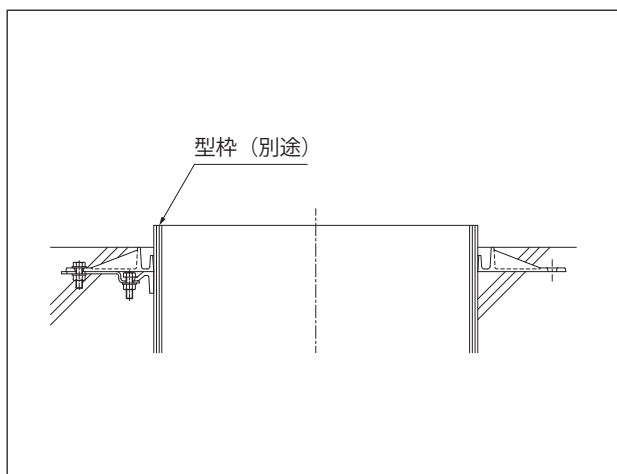
# 施工要領書 先付型 受枠:角型 製品符号:ST-S(角)



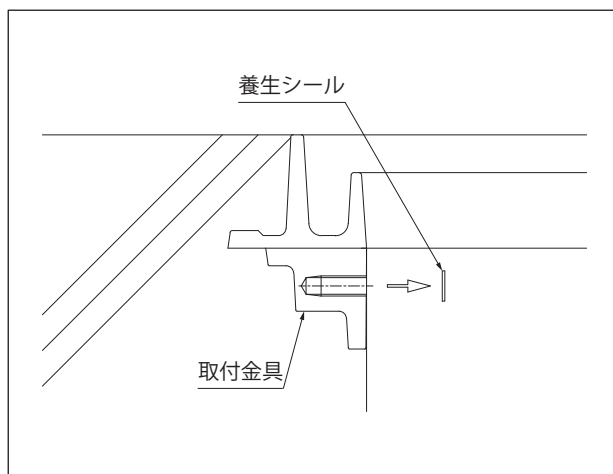
**1** 取付金具に角枠用取付金具を六角ボルト・平座金・六角ナットで取付けます。(2ヶ所)



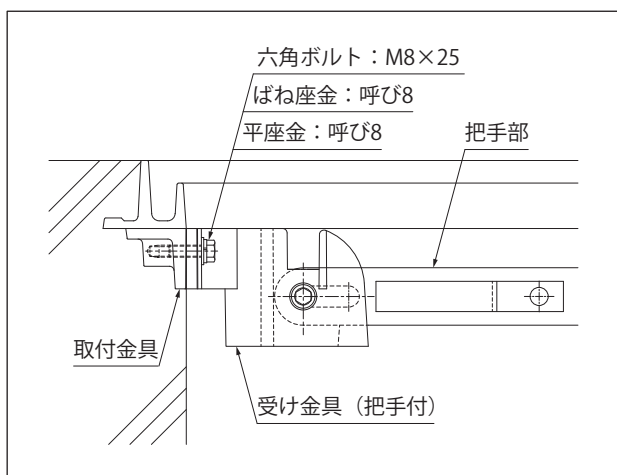
**2** ①で組み立てた取付金具を受枠に六角ボルト・平座金・六角ナットで取り付けます。(2ヶ所)



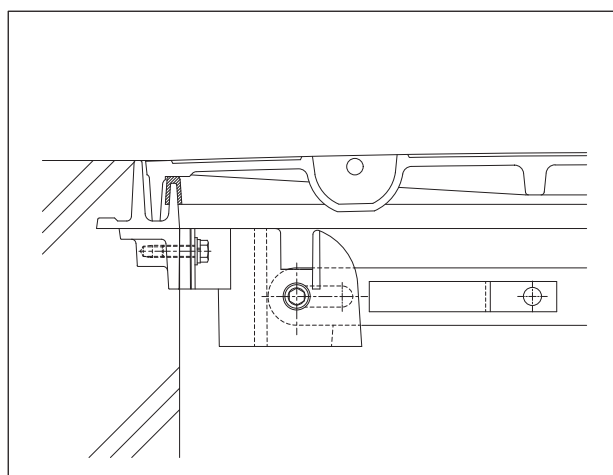
**3** 型枠(別途)を設置し、コンクリートを打設して受枠を施工します。



**4** コンクリート硬化後、型枠(別途)を外し、取付金具に貼り付けてある養生シール(黄色シール:4ヶ所)を剥がします。

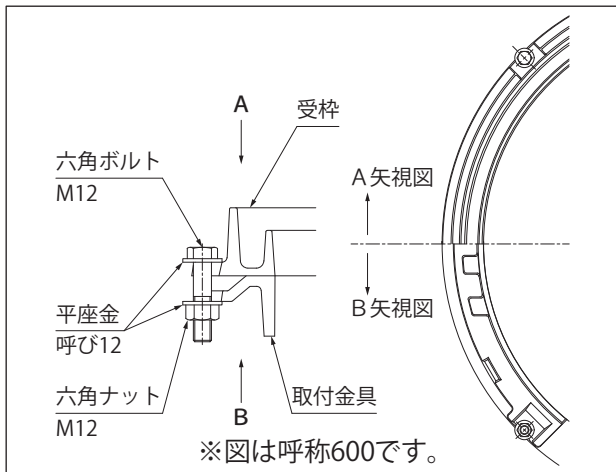


**5** 受け金具(把手付)を取付金具に六角ボルト・ばね座金・平座金で固定します。受け金具がガタツカないように六角ボルト4本を確実に締め付けてください。

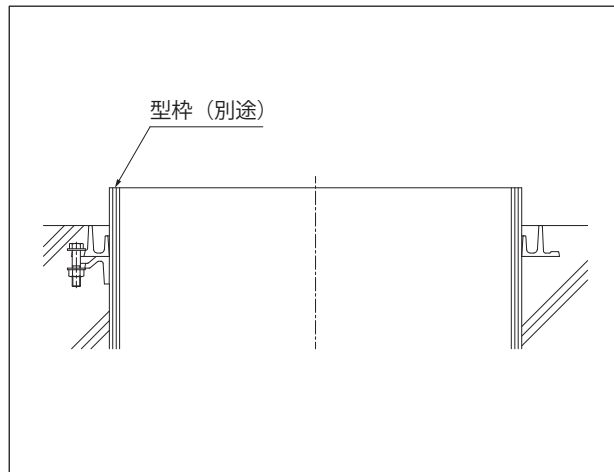


**6** 施工完了です。

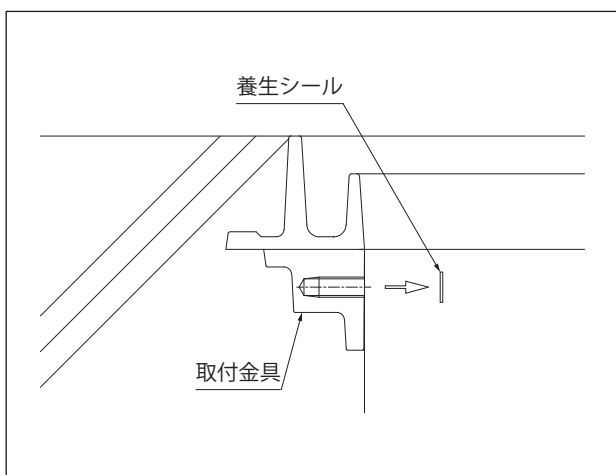
# 施工要領書 先付型 受枠:丸型 製品符号:ST-S(丸)



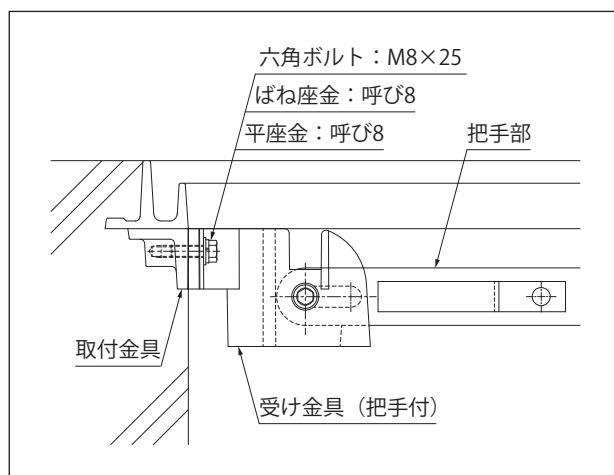
**1** 受枠に取付金具を六角ボルト・平座金・六角ナットで固定します。固定部は2ヶ所です。



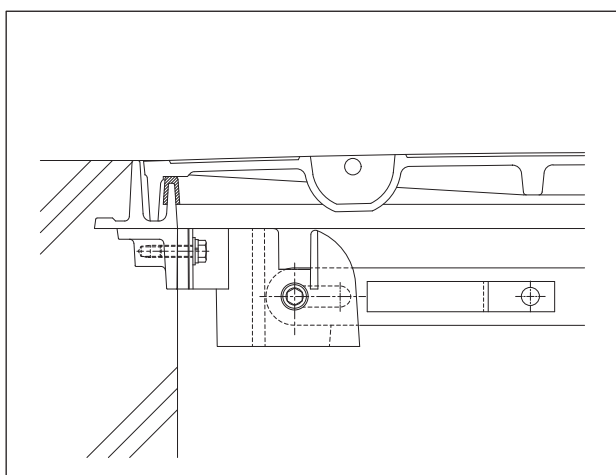
**2** 型枠 (別途) を設置し、コンクリートを打設して受枠を施工します。



**3** コンクリート硬化後、型枠 (別途) を外し、取付金具に貼り付けてある養生シール (黄色シール:4ヶ所) を剥がします。

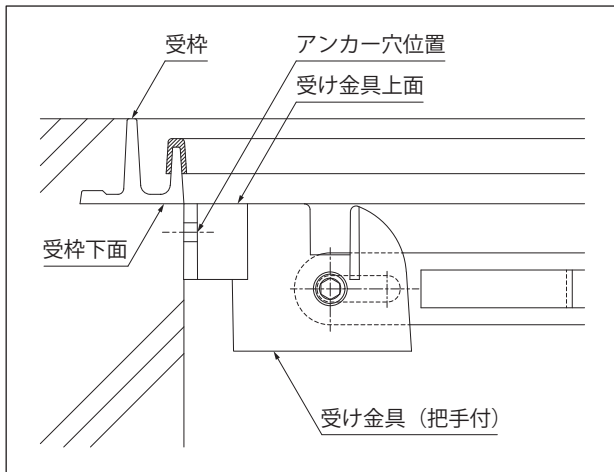


**4** 受け金具 (把手付) を取付金具に六角ボルト・ばね座金・平座金で固定します。受け金具がガタツかないよう六角ボルト4本を確実に締め付けてください。

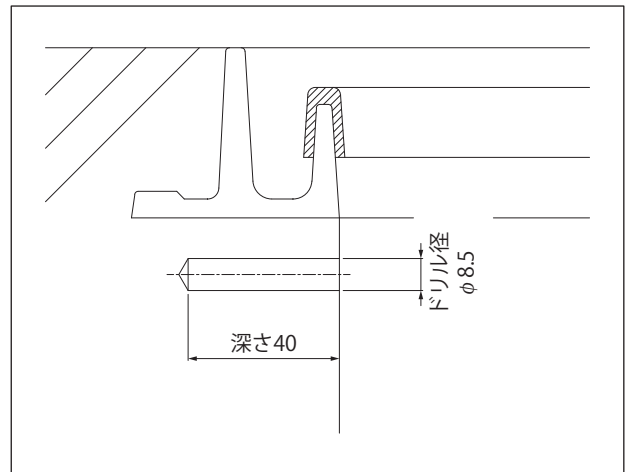


**5** 施工完了です。

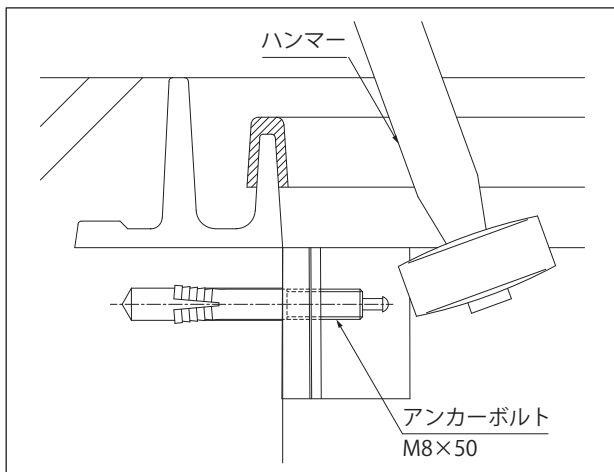
# 施工要領書 後付型 製品符号:ST-A



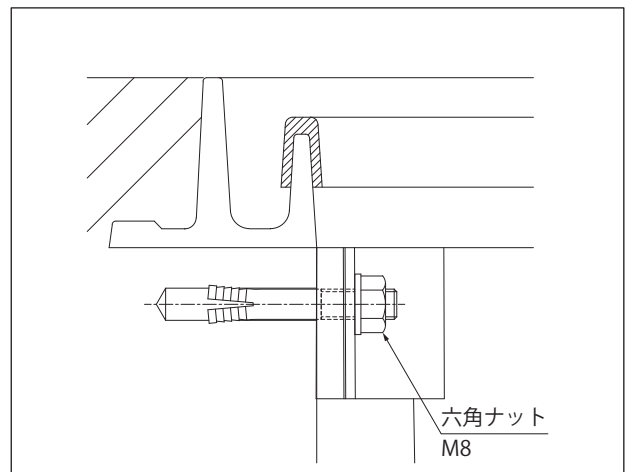
**1** マンホール内壁に受け金具 (把手付) を仮合わせしアンカー穴位置 (4ヶ所) をケガキます。このとき、受枠下面と受け金具上面の位置を合わせてください。



**2** ケガキに合わせてドリルでアンカー用下穴 (φ8.5mm、深さ40mm) をあけます。穴加工後、削り屑等を取り出して穴の中をきれいにします。

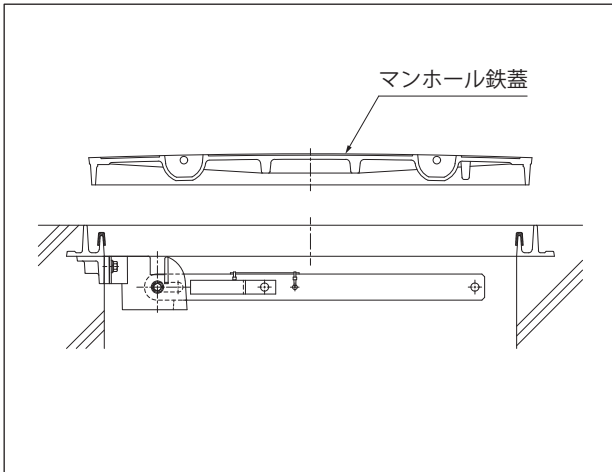


**3** 受け金具 (把手付) を下穴位置に合わせ、下穴にアンカーボルトを入れハンマーで打ち込みます。

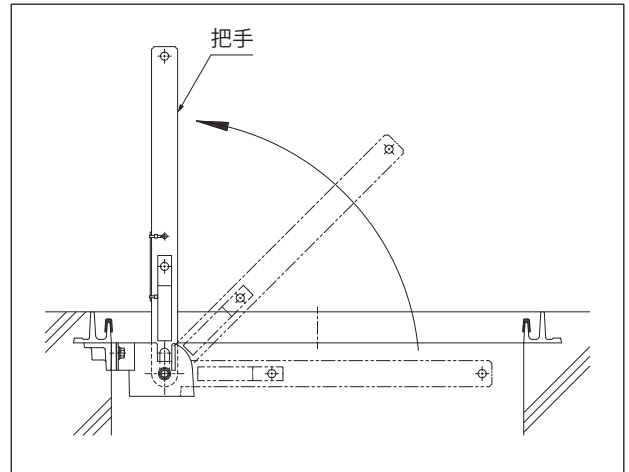


**4** アンカーボルトに六角ナットを締め付けて受け金具 (把手付) を固定し、施工完了です。受け金具がガタツかないよう六角ナット4個を確実に締め付けてください。

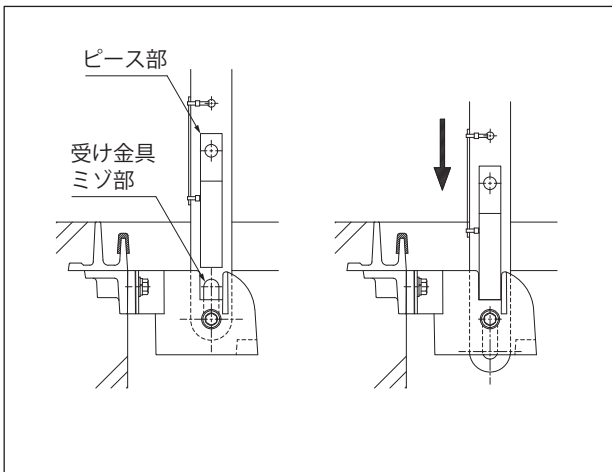
# 取扱説明書 製品符号:ST-S(角)・ST-S(丸)・ST-A(各機種共通)



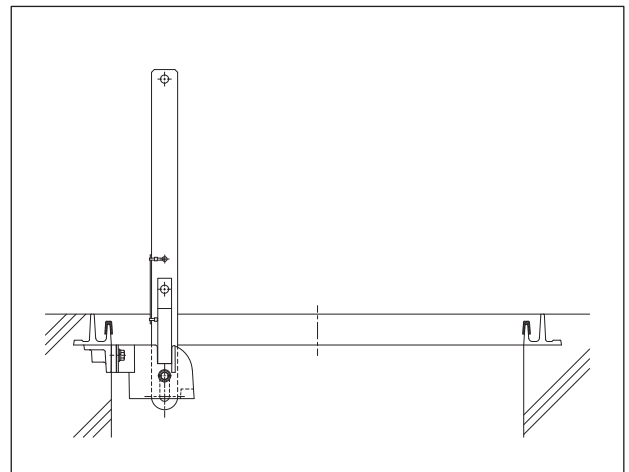
**1** マンホール鉄蓋を開けます。



**2** 把手を90度回転させて起こします。



**3** 把手のピース部を受け金具ミゾ部にはめ込みます。



**4** 把手使用状態となります。  
収納する際は手順3→手順1の順で、逆の操作を行います。

**!危険!**  
収納時の把手の上に乗らないでください。  
把手が破損して落下する恐れがあります。